

2021年10月15日

## 本邦初となるまちづくり事業を対象とするソーシャル・インパクト・ボンドへの投資 ～官民協働による群馬県前橋市の中心市街地活性化プロジェクトを資金面から後押し～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、群馬県前橋市<sup>1</sup>のまちづくり事業を対象とするソーシャル・インパクト・ボンド<sup>2</sup>に対して約500万円の投資を決定しましたのでお知らせします。ソーシャル・インパクト・ボンドは、社会課題の解決に向けて、資金提供者から調達された資金をもとに、行政が民間事業者<sup>3</sup>に業務を委託し、事業の成果に応じて資金提供者に報酬を支払う成果報酬型の金融商品です。本件は、当社にとって2件目となるソーシャル・インパクト・ボンドへの投資<sup>3</sup>となります。

### <本ソーシャル・インパクト・ボンドの概要>



### 前橋市アーバンデザイン (馬場川通り)



- 2019年に官民協働で策定したまちづくり指針である「前橋市アーバンデザイン」に基づいた、中心市街地(馬場川通り)の活性化プロジェクトが対象
- 新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛等によって減少した馬場川通りの歩行者通行量の増加と周辺地域の活性化に向けて、まちづくり勉強会やワークショップを開催すると共に、地域住民から提案された地域活性化取組みを社会実装する等、民間主体でのまちづくりを目指す

当社は、本投資を通じて、投資収益を期待するとともに、前橋市の地域活性化に向けた取組みを資金面からサポートします。今後も引き続き、運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG投資に積極的に取り組んでいきます。

<sup>1</sup> 当社は、2019年7月に前橋市と包括連携協定を締結しています。

<sup>2</sup> 本ソーシャル・インパクト・ボンドは、「まちづくり分野へのSIB導入を検討する地方公共団体に対する専門家派遣等による導入支援事業」(国交省)に採択されたと共に、「成果連動型民間委託契約方式推進交付金」(内閣府)の交付決定も受けています。

<sup>3</sup> 2019年11月に当社として初めてとなるソーシャル・インパクト・ボンドへの投資を実施しました。 [https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2019\\_061.pdf](https://www.dai-ichi-life.co.jp/company/news/pdf/2019_061.pdf)